

Press Release

K 神戸ファッション美術館  
KOBE FASHION MUSEUM



特別展  
大正ロマン 昭和モダン  
—竹久夢二・高島華宵とその時代—

2018年4月21日(土)—7月1日(日)

## 特別展 大正ロマン 昭和モダン

—竹久夢二・高島華宵とその時代—

大正時代から昭和初期にかけ、日本文化と西洋文化が融合・昇華され、現代の大衆文化の源流ともいえる表現活動が活発化しました。絵画では叙情的な女性像で一世を風靡した竹久夢二をはじめ、高島華宵（たかばたけ・かしょう）や落谷虹児（ふきや・こうじ）らが甘美な少女・少年像などを描き、新しい時代を象徴するかのような独自の作風で支持を得ました。さらに昭和に入ると、岩田専太郎、中原淳一ら挿絵画家が活躍。日本画や洋画、版画の作家たちも新たな表現を試みるようになります。本展では、竹久夢二・高島華宵を中心に、落谷虹児、岩田専太郎、中原淳一ら大正から昭和にかけて活躍した画家たちの日本画、版画、挿絵原画、絵葉書など約 200 点を一堂に展示し、「大正ロマン」「昭和モダン」と称される文化の潮流の一端を紹介します。

■ 高島華宵 (たかばたけ・かしょう)



「南国の唄『少女画報5月号』の口絵」



「花をいだいて(鈴蘭)」制作年不詳



「あじさい娘」昭和6～30年頃

■ 小早川清 (こばやかわ・きよし)



小早川清「近代時世粧ノ内一ほろ酔ひ」昭和5年2月

■ 竹久夢二  
(たけひさ・ゆめじ)



「星まつり」大正末頃

■ 橘小夢  
(たちばな・さゆめ)



「水魔」昭和7年

■ 北野恒富  
(きたの・つねとみ)



「鶯娘」大正14年

■ 橋口五葉  
(はしぐち・ごよう)



「化粧」大正7年

■ 小村雪岱  
(こむら・せつたい)



「お傳地獄」昭和13年頃

## 関連イベント

## ■ 講演会「大正ロマンの画家たちー夢二や華宵などー」

日時：2018年4月29日〔日〕14:00—15:30  
 講師：中右 瑛氏（国際浮世絵学会常任理事・本展監修者）  
 会場：4階第1セミナー室  
 定員：90名程度（先着順）  
 ※参加無料／要申込

## ■ ワークショップ「筆で描き、彩り、楽しむ夢二のデザイン」

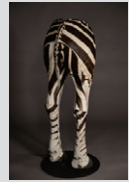
日時：2018年5月13日〔日〕14:00—16:00  
 講師：村田 隆志氏（大阪国際大学国際観光学科学准教授）  
 会場：4階第1セミナー室  
 定員：20名（先着順）  
 ※参加無料／要申込

[申込方法] 電話・FAXのいずれかで①名前②日中連絡のつく連絡先  
 ③年齢（ワークショップ参加希望者のみ）を明記の上、お申込み下さい。

## 同時開催 2018年4月14日（土）—7月1日（日）（予定）

## ■ 常設展（コレクション展）

特集テーマ「数字で見る神戸ファッション美術館」展  
 ※特別展をご覧の方は無料です。



2018年  
 4月21日（土）—7月1日（日）

開館時間：10:00—18:00（入館は17:30まで）  
 休館日：月曜日、2018年5月1日（火）（4月30日（月・祝）は開館）  
 入館料：一般500(400)円、大学生・65歳以上250(200)円、  
 高校生以下無料

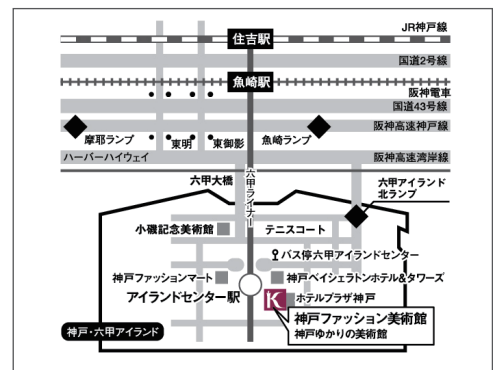
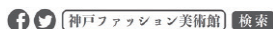
※カッコ内は30名以上の団体料金です。  
 ※「神戸ゆかりの美術館」、「小磯記念美術館」へは当日入館券の半券提示により割引料金で入館できます。  
 ※上記料金で特別展と常設展（コレクション展）の両方をご覧頂けます。  
 主催：神戸ファッション美術館、神戸新聞社  
 後援：サンテレビジョン、ラジオ関西  
 展示協力：大阪樟蔭女子大学

## お問い合わせ（広報担当）

TEL：078-858-0050  
 FAX：078-858-0058  
 Eメール：press@fashionmuseum.or.jp

〒658-0032 神戸市東灘区向洋町中2-9-1

http://www.fashionmuseum.or.jp



## [電車ご利用の場合]

JR「住吉駅」・阪神「魚崎駅」のりかえ六甲ライナー「アイランドセンター駅」下車南東すぐ

## [お車ご利用の場合]

阪神高速神戸線「摩耶」・「魚崎」ランプから約10分  
 阪神高速湾岸線「六甲アイランド北」ランプから約2分  
 三宮からハーバーハイウェイ経由約15分

※駐車場は、美術館隣接のタイムズ神戸ファッションプラザ駐車場をご利用ください。

駐車場利用料金：60分300円

※1日最大500円（平成29年12月現在）